

TAKE FREE

ご自由にお取りください

いのなハーモニー

# Harmony

千葉大学病院ニュース 人間の尊厳と医療の調和を目指して

2022.1 VOL.64

Fore Runner  
チームノチカラ

県内初導入! エクモカー誕生 -エクモカー製作チーム-

特集

「Beyond コロナ」その先を見据えて



千葉大学病院  
CHIBA UNIVERSITY HOSPITAL

表紙の写真

コロナ対策本部事務局  
(詳細は裏表紙へ)



重症患者さんを安全に搬送するために、モニタリング機器を車内に配置し、360度から治療が行えるように、広くスペースを確保しています。

## Fore Runner

チームノチカラ

日本財団様と千葉銀行様のご支援により導入したエクモカーは、当院で救急医療や災害医療を担う医療者の生の声をもとに、千葉にゆかりのある2社の技術者たちが粋を尽くして製作しました。

### No.5 エクモカー製作チーム

# 県内初導入！エクモカー誕生 走るER（救急救命室）& 災害時も活躍

今回当院で導入するエクモカーは、救命のために緊急処置が必要な患者さんの移動式診療スペースとして、また災害時には現場に急行するDMAT専用車両として活躍します。コロナ治療に奮闘した当院救急科の医師が、実際に使う立場から製作に関わりました。車体は、千葉で創業し、消防車両などの企画・開発を行う(株)ベルリングが、ECMO専用のストレッチャーは、千葉市若葉区でパラリンピックの競技用車いすなどを製作している(株)オーエックスエンジニアリングがそれぞれ製作。まさに「チーム千葉」が作り上げた最新鋭のドクターカーです。

※DMAT(Disaster Medical Assistance Team)

災害や事故などの発生から概ね48時間以内に活動できる専門的な訓練を受けた災害派遣医療チーム

## ◀◀ CHECK POINT



### 可搬式収納ラック

持ち出しできるラックを左右に搭載し、機動性を高めています。



### メディカルシート

長距離移動でも医療者に負担がかからないよう、背もたれがある座り心地のよいシートにしました。回転式で折りたたみが可能なため、処置スペースを広く確保できます。



### ECMOストレッチャー

日本で初めて開発された国産ストレッチャーは、従来の外国製に比べ、カスタマイズの自由度が高く、医療者の要望に合わせて医療機器の配置調整などができます。メンテナンスが国内で行えるため、時間も費用も抑制できる点が、純国産ならではの魅力です。



車体を企画・製作した  
千葉県創業の会社です  
株式会社ベルリング  
代表取締役 飯野 壘

ICU副看護師長  
山田 香織

ECMOストレッチャーを製作した  
千葉市若葉区にある会社です  
株式会社オーエックスエンジニアリング  
副社長 山口 高司

### 基本スペック

車両 TOYOTA コースター(ロングボディ)

乗車可能人数 9名(運転席・助手席:2名、患者:2名、医療者:5名) ※ストレッチャーは2台同時搬送可能

## 日本財団様、千葉銀行様 ご支援ありがとうございました!

Special  
Thanks

エクモカーの導入は日本財団様および千葉銀行様のご支援により実現しました。心より感謝申し上げます。11月1日に寄贈式を行い、熊谷俊人千葉県知事にもご出席いただきました。



(左から)佐久間英利 千葉銀行取締役会長、尾形武寿 日本財団理事長、横手病院長、中田救急科長、熊谷俊人 千葉県知事



マイクロバスの内部を細かくカスタマイズした唯一無二のエクモカーです。医療に貢献したいという思いを持った皆さんと力を合わせて作りました。いざという時、患者さんの救命にしっかりと役立てたいと思います。



Navigator  
救急科・ICU/医師  
大島 拓



### ストレッチャー用リフト

耐荷重300kgまで自動昇降します。



### 簡易型陰圧装置

天井に設置し、感染症患者を安全に搬送することができます。

# 「Beyond コロナ」 その先を見据えて

かつてないパンデミックに  
全職員で立ち向かった8月

コロナが発生してから3度目の冬を迎えました。その間、爆発的な感染拡大から2度の非常事態に陥り、医療の逼迫にも直面しましたが、院内外での協力を通じて、乗り越えることができました。コロナが慢性期に入った今、これまでのように日常を抑制するだけではなく、感染リスクを抑えて、コロナと共存しながら、以前のような生活も送れる社会の仕組みを皆で作っていく必要があるでしょう。千葉大学病院は、コロナ対応と高度医療の提供を両立し、これからは「地域の最後の砦」としての務めを果たしてまいります。  
**withコロナからその先へ。**ともに新たな時代を目指していきましょう！



横手 幸太郎 病院長



### 軽症の患者さんを対象に 抗体カクテル療法を初めて実施

コロナウイルスが増殖するのを防ぐために、「カシリビマブ」と「イムデビマブ」という2種類の抗体を混ぜ合わせて使用する治療です。約20～30分の点滴を1回行います。



### 集団接種会場に職員を派遣

蘇我コミュニティセンターで実施された、大規模接種会場に当院の職員を派遣し、ワクチン接種に協力しました。当日の接種だけでなく、前日から会場設営や接種に当たってのトレーニングも行いました。



### コロナフォローアップ漢方外来を 感染症内科に開設

漢方医によるコロナの後遺症専門外来を毎週火曜日の午後に行っています。コロナの治療後も続く原因不明の症状(疲労感や脱毛など)にお困りの方は受診ください。

※初診の方は医療機関からの事前予約が必要です。



咳



息苦しさ・動悸



だるさ



発熱



記憶障害



脱毛



胸の痛み、違和感



嗅覚・味覚障害

他にも…抑うつ、立ちくらみ、関節痛、筋肉痛、集中力の低下などがあります。

コロナから回復しても、4人に1人が半年たっても後遺症とみられる症状に悩まされています。長い人は1年以上症状が続いており、日常生活に支障をきたしている人も少なくありません。重症化は高齢者や肥満の方がどリスクが高いと言われていますが、後遺症は、比較的重症化リスクが低い若者や「やせ型」の人にも多く発症する傾向にあります。

### PICK UP

コロナ後遺症って  
なあに？



感染力の強いデルタ株によって爆発的な感染拡大が起きた8月、9月の第5波。当院は国や千葉県からの要請で、2病棟(フロア)と集中治療室(ICU)18床をコロナ専用とし、**最大50人**の受け入れ体制を整えました。最も多いときは48人の患者さんが入院。多くの医療者がコロナ病床の応援に回ったことで、救急や手術・検査が制限される非常事態に陥りました。

ICUが完全にコロナ重症患者専用となったのは初めてのことでした。高度な治療を必要とする重症患者さんを受け入れることができなくなり、ICUではコロナ対応が始まって以来、最も緊張感が高まりました。中でも、ICUスタッフは、献身的にコロナ重症患者さんの回復を願ってケアに当たりました。ホワイトボードに、いつ・誰が・どの患者さんのケアに入るのかを書き出して可視化し、少人数で協力し合い、診療と看護を継続しました。



ICU 看護師  
竹内 純子 師長



心臓手術はICUがコロナ専用病棟となり、週8~10件あった手術をやむなく2~3件まで減らしました。いつ手術できるかわからない不安の中、ただ待つことしかできなかった患者さんにとって、大きな負担だったと思います。私たちも、患者さんに延期を告げねばならず、とても辛かったです。二度とこのような事態を繰り返さないためには、通常の感染予防の徹底とワクチン接種による重症化予防が大事だと思います。



心臓血管外科  
松宮 護郎 科長



8月



10月



12月

感染者数減少でコロナ病床縮小も  
オミクロン株急拡大で第6波へ



一般病棟のスタッフたち

9月から徐々にコロナ患者さんが減少したため、11月よりコロナ専用病棟は2病棟(フロア)から1病棟へ、手術・検査の制限も解除し、集中治療室(ICU)でも通常診療を再開、呼吸器内科の新患受け入れも段階的に再開しました。しかし、12月に入り、オミクロン株の流行により、再び人員配置の変更が必要となりました。



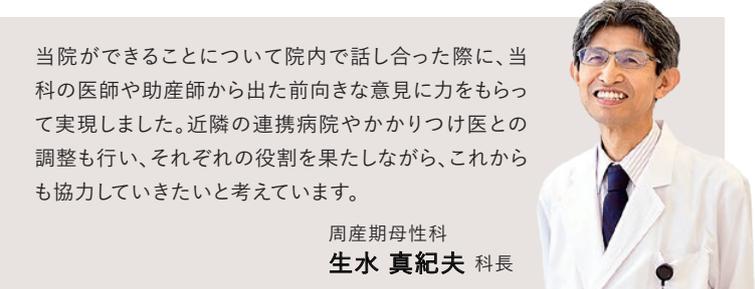
妊産婦専用のコロナ病床として  
4床の運用開始

8月に起こった柏市での事案を受け、コロナに感染した妊婦さんと赤ちゃんの受け入れ体制(妊産婦2室、新生児4室)を整えました。



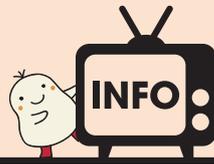
1月21日より、まん延防止等重点措置が実施されましたが、診療が滞らないように、職員に3回目のワクチン接種を行って予防に努め、これまでの経験を糧に最適なケアが提供できるよう、しっかり体制を備えていきます。

感染制御部  
猪狩 英俊 部長



当院ができることについて院内で話し合った際に、当科の医師や助産師から出た前向きな意見に力をもらって実現しました。近隣の連携病院やかかりつけ医との調整も行い、それぞれの役割を果たしながら、これからも協力していきたいと考えています。

産科  
生水 真紀夫 科長



(左)ホスピタルストリートの撮影風景 (右)美術の方が制作した院内サインは、2016年に当院で初めて撮影した時からずっと使用されています！



## 失敗しない外科医・大門未知子 2年ぶりに千葉大学病院へ！

2012年の放送開始から今年で10年目を迎える「ドクターX～外科医・大門未知子～」の撮影が2年ぶりに当院で行われました。撮影は、外来診療棟や中央診療棟のほか、旧医学部校舎も使用しています。1936(昭和11)年に建てられ、正面玄関の印象的な柱や吹き抜けの空間を彩る天井のステンドグラスなど革新的で美しい建造物が映像で保存され、全国の皆様にも見ていただく機会となりました。



## 不整脈でお困りの患者さん、 当院で治療してみませんか？

当院の不整脈治療実績は、全国大学病院の中でもトップクラスで県内では最多数を誇り、カテーテルアブレーション・デバイス治療・左心耳閉鎖術を合わせて年間約600件の治療を行っています。安心して治療を受けていただけるように、最新の設備を取り揃えていますので、治療を希望される方は、紹介状を持参の上受診してください。



## 病院ホームページが変わります より使いやすく、快適に

ホームページを全面リニューアルしました。今回のリニューアルでは、利用者がより情報を探しやすいよう構成やデザインを刷新しました。これからも引き続き、皆様のお役に立つ情報のご提供や内容の充実に努めていきます。



YouTubeの千葉大学病院公式チャンネルで動画を公開予定です！

循環器内科  
近藤祐介 診療准教授

グリア細胞を元気にして、  
脳の機能を高めましょう！



脳神経外科  
岩立康男 教授

全国の書店で発売中！  
930円(税込)



## 脳を使うだけでは認知症を防げない！？ 「脳の寿命を決めるグリア細胞」

脳は、主に神経細胞(ニューロン)とグリア細胞で構成されていますが、グリア細胞を増やすことが、脳の健康に繋がることが最近の研究でわかってきました。「脳の寿命を決めるグリア細胞」では、脳神経外科医の視点で、脳の健康を保つためのよいトレーニングなども紹介しています。ぜひご覧ください！ 外来診療棟1階のローソンでも販売中です。



## 頑張る医療者たちの心とお腹を満たしたい！ 新米と茶菓を寄贈いただきました

コロナ禍で奮闘している当院のスタッフへJA千葉中央会様より新米を、千葉経済学園ボランティアセンター様より茶菓をいただきました。地域の皆様からの心温まるご支援は、当院スタッフの大きな励みになっております。これからも皆様の期待に応えられるよう、地域医療に貢献してまいります。



ありがとう  
ございました！

# 診断のつかない病で悩む 患者さんの「最後の砦」として

総合診療科 医師 上原 孝紀

## FACE

新たに発生した身体の不調、あるいは精査しても診断困難であった患者さんの問題解決が専門の診療科です。受診したその日のうちに問題が解決できるよう、日々取り組んでいます。

### Q. 総合診療医を目指したきっかけは？

どんな症状でも、どんな場所でも、短い時間で高い精度の医療を提供したいと思ったことがきっかけです。患者さんやご家族、一緒に働く他の専門職から、「総合診療科のチームがいてよかった」と思ってもらえる診療を提供し続けることを目指しています。

### Q. 最近特に力を入れていることは？

2021年1月より、更なる医療の質の向上を目標に、当院の入院患者さんを対象とした、総合診療医による診療支援を開始しました。これは臓器専門医と総合診療医が病院横断的に協働する国内初の取り組みです。特定の臓器・疾患に限定せず、心身を総合的に診る総合診療医の特性を活かし、主病とは別の新たな不調が起こった時に、スピーディーかつ確かな診断をして、速やかに主治医が治療を開始できるようにサポートします。早期に治療を開始できるため、入院日数の短縮にも繋がります。

### Q. 原因のわからない不調に悩む患者さんにメッセージを！

病院一丸となって患者さんに良質な医療を提供できるように、私たち総合診療医は医療専門職間で協働し、研鑽を日々積んでおります。診断のつかない体の不調でお困りでしたら、当科の受診をご検討ください。



さまざまな症候や問題に対応する診療を専門としているため、医師や看護師はもちろん、病院で働くほぼすべての職種と協働しています。

## off shot

休みの日は家族とお出かけやテニスをしたり、スタッフを誘ってジョギングをしたりしています。



## お薬手帳のおはなし

複数の医療機関にかかっても  
お薬手帳は、「1人につき1冊」です！

お薬手帳は、医療機関にかかった時に処方される薬の内容が記録されている、とても大事な情報です。お薬手帳の情報を見て、医師や薬剤師は薬の重複や飲み合わせの確認をします。お薬手帳が何冊もあると正しい情報を医師や薬剤師に伝えることができなくなるため、医療機関ごとにお薬手帳を作ってはいけません。複数の医療機関にかかっている場合でも、**薬を飲むのはあなた1人です**。安全な治療を受けるためにも「**お薬手帳は1人につき1冊**」にまとめましょう。

新しいお薬手帳を使い始めてからしばらくは、今まで使用していたものも携帯してください

私がお答えします  
薬剤部 西須 裕人



Special Thanks

ご寄附いただいた皆さまに  
ところから感謝の気持ちをこめて



2021年11月の時点で総額105,339,913円ものご寄附と多くの物資をいただきました。皆さまの温かいお気持ちは、現場の医療スタッフの大きな励みになっています。本当にありがとうございます。

地元経済界の皆様からストレッチャー・車いすをご寄贈いただきました！

当院の診療と研究を支援する目的で、千葉県内の企業など42団体が組織されている「千葉大学医学部附属病院 臨床医学研究助成会」から、このたび、ストレッチャー6台、大型の車いす2台を寄贈いただきました。診療に欠かせない医療器具であり、地域医療の最後の砦として、コロナ対応の拠点として、これらを活用し、皆様の信頼に応えてまいります。

個人

太田 廣諭喜 様	大澤 良和 様
中澤 英雄 様	高橋 節子 様
角田 恵理子 様	安東 博子 様
徐 晨 様	鹿野 圭祐 様
山下 志津子 様	高橋 憲一 様
宮田 範子 様	松井 幸博 様
島村 千代子 様	河原 亜樹 様
井上 崇 様	潤間 宏一 様
吉本 一紀 様	石崎 慧 様

竹本 智子 様
長谷川 瑛美 様
ヴォリス 友視 様
岡本 和美 様
佐藤 由美 様
國友 健全 様
西坂 仰 様
小林 圭子 様
鈴木 潤子 様

山田 雅敏 様
山田 仁三 様
仲村 照子 様
小久保 一紀 様
川瀬 美恵子 様
眞子 泰恵 様
中井 正一 様
山田 大介 様
牛島 亜矢子 様

法人等

株式会社 サクラ整備 様
千葉大学医学部附属病院 様
臨床医学研究助成会 様
JA千葉中央会 様
千葉経済学園 様

ご芳名は、2021年8月～11月に一定金額のご寄附および公開のご承諾をいただいた方をご寄附をいただいた順に掲載しています。(クレジットの入金日などの関係で掲載が次号になる場合があります)

ご寄附のお申し込みはこちら

外来診療棟1階の簡易郵便局に専用の払込取扱票(郵便局用)があります。どうぞご利用ください。



Cover

事務の面からコロナ対応をサポート  
「新型コロナウイルス感染症対策本部事務局」

患者さんの受け入れ、コロナ病床調整、国や県との各種調整・報告、ワクチン関係業務、院内外への広報活動、医療材料の調達、寄附の受け入れ、各種会議運営など、多種多様な業務を行っています。業務内容が多岐にわたるため、医師や看護師ら多職種と連携し、事務局全体で協力し合いながら、日々直面する様々な課題に取り組んでいます。



事務局業務を担う総務課の(左から)宮田由梨、菊谷達也、海老原真徳、古池宏羊

Message

地域の救急医療に貢献できるように  
全力を尽くします

当院は、千葉医療圏で地域災害拠点病院と救命救急センターの指定を受けており、多くの重症救急患者を受け入れています。中央診療棟屋上のヘリポートは11トンクラスのヘリが離着陸できるため、海上保安庁や自衛隊の大型ヘリによる受け入れ訓練などを実施しています。近隣住民の皆様にはご迷惑をおかけしてしまいますが、何卒ご理解をよろしくお願いいたします。



海上保安庁ヘリ「いぬわし」による離着陸訓練の様子

いのはな  
Harmony

千葉大学病院広報誌「いのはなハーモニー」  
第64号 2022年1月31日 発行

[発行] 千葉大学医学部附属病院 〒260-8677 千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

TEL : 043-222-7171(代表)

Mail : byoin-koho@chiba-u.jp

URL : https://www.ho.chiba-u.ac.jp/

※バックナンバーはホームページでご覧いただけます

本誌に掲載されている内容の無断転載、転用および複製等の行為はご遠慮ください。



千葉大学病院  
ホームページ